

## 

平成23～27年度の牟呂坂津地区、牛川西部地区、柳生川南部地区の整備計画について事後評価を実施しており、事後評価原案を作成したので公表します。

**公表期間:**10月19日(月)～11月2日(月)(市役所での閲覧は、土・日曜日を除く)

**公表場所:**市役所区画整理課(東館9階)・じょうほうひろば(東館1階)、ホームページ(<http://www.city.toyohashi.lg.jp/2993.htm>)

**その他:**公表期間中は意見書を提出することができます

**問い合わせ:**区画整理課(☎51・2666)



## 丸山薫賞受賞作は細田傳造さんの「水たまり」に決まりました

問い合わせ 文化課(☎51・2875)

現代詩に多大な業績を残した詩人・丸山薫を永く称えようと、ともに、詩文化の発展のため、全国から公募した詩集の中から優れた現代詩集に「丸山薫賞」を贈っています。今回は応募詩集と推薦詩集合計211冊が対象となりました。

**受賞詩集名** 「水たまり」(書肆山田) **受賞者** 細田傳造さん **受賞者略歴** 1943年生まれ。さいたま市在住。既刊詩集に「谷間の百合」「びーたーらびと」。詩誌「歷程」同人

### ■贈呈式

**とき** 10月21日(水)午後1時30分 **ところ** ホテルアソシア豊橋(花田町字西宿)



細田傳造さん

情報ピックアップ

楽しむ・学ぶ

支援・医療

情報ピックアップ

相談

募集

情報あれこれ



## 10月17日(土)～23日(金)は「薬と健康の週間」です

問い合わせ 健康政策課(☎39・9101)

<http://www.city.toyohashi.lg.jp/6640.htm>

「薬と健康の週間」は、医薬品を正しく使用することや、薬剤師などの専門家の役割を多くの方に知ってもらったための週間です。

### ■医薬品の正しい知識を持ちましょう

医薬品には、医師の処方せんにより使用される「医療用医薬品」や、薬局などで市販される「一般用医薬品(1類、2類、3類)」、「要指導医薬品」があります。医薬品は病気や怪我を治すのに役立つ一方、使用期間、用法、用量、保管方法などを守り、使用上の注意を理解して正しく使用しなければ、効果が無かったり、副作用が現れやすくなったりして健康を損なうおそれがあります。分からないことは、医師、薬剤師などに相談して適切に使用しましょう。※医薬品の分類については、厚生労働省ホームページ(<http://www.mhlw.go.jp/bunya/yakuhin/okusuri/info/>)参照

### ■薬の用法を理解しましょう

食前/胃の中に食べ物が入っていないとき(食事の1時間前/30分前)  
食後/胃の中に食べ物が入っているとき(食事の後30分以内)  
食間/食事と食事の間(食事の2時間後が目安)

※食事中に服用することはありません  
就寝前/寝る約30分前

頓服/発作時や症状のひどいとき  
■かかりつけ薬局を持ちましょう  
身近で相談しやすい「かかりつけ薬局」を持つと、複数の医療機関から処方せんをもらった場合でも、1か所の薬局で調剤を受けることで、飲み合わせの悪い薬がないか、同じような薬が重複していないかなどをチェックし、安全に使用できます。また、後発医薬品(ジェネリック医薬品)の使用などについても相談できます。

### ■お薬手帳を活用しましょう

「お薬手帳」とは、自分が使っている薬を記録するための手帳です。自分が使用している薬や、薬のアレルギー経験を記録し、医師や薬剤師に正確に伝えることはとても大切です。病院や薬局に行くときだけでなく、緊急時に備えて携帯しましょう。また、お薬手帳は薬局ごとに分けず、1冊にまとめましょう。

### ■薬物乱用は、「ダメ。ゼッタイ。」

覚せい剤や危険ドラッグなどを使用することはもとより、治療などに使う医薬品を目的外に使用したり、用法、用量を守らずに使用したりすることも薬物乱用にあたります。薬物乱用を身近な問題として捉え、正しい知識を身につけましょう。

# わくわく活動ひろば

豊橋市では、みなさんからの寄附などによるトヨッキー基金(市民協働推進補助金)から、社会に役立つ活動に市民協働推進補助金を交付しています。この補助金によるNPOや自治会などの活動を紹介します。

## NPO法人 手しごと屋

老津町で「デイサービス手しごと屋」を開業して3年が経ちました。遊歩道がある広い庭と明るい日差しがいっぱいの縁側のある平屋の古民家で、利用者ひとりひとりの顔を見ながら付き添いや見守りを行い、また、個別の入浴や散歩・ストレッチ、温かい食事など、手のぬくもりを添えたサービスの提供をしています。

平成27年度の市民協働推進補助事業(つじ補助金)で講座「高齢者の病気と介護食」管理栄養士から学ぶ食と栄養の基本」を全5回にわたって行っています。講師は渡邊翔子さん(寺田クリニック豊橋管理栄養士)です。

この講座は、理論と調理実習を通して高齢者に多い病気や必要な食と栄養に関する基本を学び、病気の予防や悪化、進行を抑えることを目的としています。第1回の講座では、事前に管理栄養士へ質問を提出し、その内容を踏まえた話を聞きました。第4・5回の講座は、第2・3回に続き、季節の食事について学びます。どなたでも参加ができます。ぜひ、ご参加ください。

### ■高齢者の病気と介護食

**とき** 第4回/12月5日(出)、第5回/来年3月5日(出) いずれも午前11時~午後2時 **ところ** デイサービス手しごと屋老津(老津町字薬師前) **定員** 各10人(申込順) **受講料** 無料 **問い合わせ** NPO法人手しごと屋 内藤(☎23・2099)※月々金曜日午前9時~午後4時30分



調理実習の様子

## みなと塾

私たちは、三河湾が昔のようにならないうちに豊かな海になるように、また東三河に住む人たちに、これからも今のままの三河湾でいいのかわかなくてもらうきつかけづくりにならばという想いから、みなと塾を立ち上げました。定期的な海岸清掃・海岸の生物調査・環境学習会の開催や、郷土の歴史・出来事などを、機関紙「みなと塾」を通して広く情報提供し、各種催しものを企画・実行しています。

今回は、地域を盛り上げるため、青年団の盆踊りと日にちを合わせ、8月14日(金)・15日(土)に、前芝町の豊川放水路の堤防へ500基余の灯ろうを並べる「前芝川灯ろうまつり」を開催しました。

呼びかけた町民のほかに、前芝小学校・前芝保育園や前芝絵手紙教室のみなさんにも参加をしてもらうことができました。また1人で100基もの灯ろうを寄附された方もいました。準備から当日まで、ボランティア、消防団、町自治会などの協力があり、多くの人が出会える場となりました。来年はより多くの人に呼びかけをしていく予定です。

### 問い合わせ みなと塾 加藤(☎32・1927)



寄附された100基の灯ろう



前芝川灯ろうまつり

トヨッキー基金への寄附は、随時受け付けています。この基金への寄附は税金の優遇措置があります。詳しくは市民協働推進課(☎51・2483) <http://www.city.toyohashi.lg.jp/5230.htm>

【寄附累計】  
6,770,801円(平成19年度から)  
320,389円(平成27年度受入分)

## 豊橋市内の平成27年8月の交通事故(人身)

[ ]は平成26年8月、( )は平成27年の合計  
●件数 249件 [233件] (1,956件)  
●死者 2人 [4人] (5人)  
●傷者 339人 [301人] (2,494人)  
※黄色信号は止まれです。スピードを落としましょう

## 豊橋市の人口と世帯

(平成27年9月1日現在)  
●人口 378,385人(前月比70人減)  
[男189,822人/女188,563人]  
●世帯 152,534世帯(前月比62世帯増)  
※このうち外国人は13,736人/6,797世帯

## 今月の納税

市県民税 第3期分  
国民健康保険税 第4期分  
納期限 11月2日(月)

早めにお近くの金融機関、ゆうちょ銀行・郵便局またはコンビニエンスストア(バーコード印字のある納付書のみ)で納めましょう。納税には手間のかからない口座振替の制度が便利です。

問い合わせ:納税課(☎51・2235)